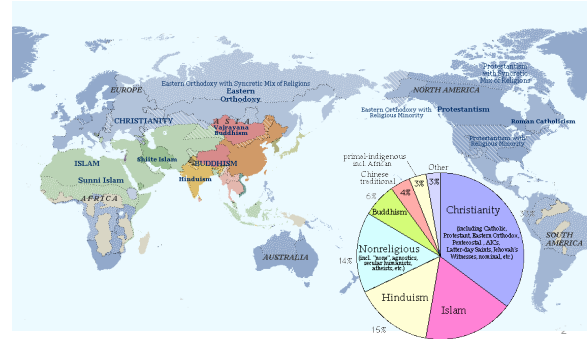


キリスト教の基礎(3)

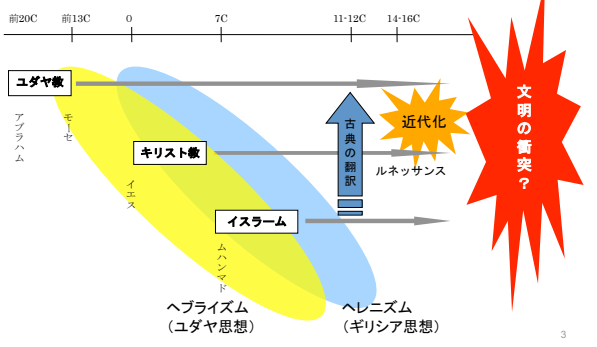
キリスト教の歴史的展開

— 世界史の中で —

世界の中のキリスト教



一神教の文明論的系譜



キリスト教の起源

- イエスの十字架(30年頃)
- ユダヤ教の一派として活動

キリスト教の起源

- パウロをはじめとする宣教者によって、ギリシア・ローマ世界に、イエスのメッセージが伝達される。
- 教会の形成

多様な教会形成の歴史

- 東方キリスト教世界
- 西方キリスト教世界

東方キリスト教世界

- 東方正教会
 - ギリシア正教会
 - ロシア正教会、等々

7

西方キリスト教世界

- ローマ・カトリック教会
- 聖公会(英国国教会)
- プロテスタント教会
 - ルター派(ルーテル)教会
 - 改革派教会・長老派教会
 - 会衆派教会
 - バプテスト教会
 - メソジスト教会、等々

8

エキュメニカル運動

- エキュメニカル運動
 - 20世紀初頭、キリスト教の教派一致運動として始まった。

9

世界教会協議会(WCC)

- 1948年、オランダのアムステルダムで発足。
- ヨーロッパと北米を中心とする147の加盟教団から始まったが、今では、120以上の国から342の教団が加盟している。
- 東方正教会は設立当初からのメンバーであるが、ローマ・カトリック教会はオブザーバーとして参加。

10

第二バチカン公会議

- 1962～1965年、バチカンで開催
- カトリックの現代化がテーマ
- 他宗教との対話の意義を認める。

11